

## 環境パフォーマンスデータ(2021.4.1~2022.3.31)

INPUT		OUTPUT		RF出荷量 (t)	
ガソリン (kL)	17	CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	935	2021年度	53,718
プロパン (m <sup>3</sup> )	254	再資源化物出荷量 (RF) (t)	53,718	2020年度	55,443
軽油 (kL)	31	産業廃棄物排出量 (t)	392	2019年度	56,494
A重油 (kL)	83	再生残渣量	295		
電力 (kWh)	1,614,264	空容器量	97		
工業用水 (m <sup>3</sup> )	0	廃プラスチック類	95		
受入れ廃棄物 (t)	36,615	金属くず	0		
①産業廃棄物 (t)	35	木くず	0		
廃油	18,943	紙くず	0		
汚泥	11,082	がれき類	0		
廃酸	1,584	繊維くず	0		
内 廃アルカリ	1,854	ガラスくず	2		
訳 ばいじん	698	有価金属くず (t)	639		
廃プラスチック類	39				
動植物性残渣	549				
燃え殻	363				
②船舶廃油 (t)	1,502				
③原材料(原料油) (t)	18,571				

リサイクル率の計算式

$$\text{リサイクル率\%} = \frac{(\text{受入廃棄物量} - \text{空容器量}) - \text{再生残渣}}{\text{受入廃棄物量} - \text{空容器量}} \times 100$$

## 環境・安全衛生活動データ(2021.4.1~2022.3.31)

社会的課題との適合性	目的・目標	結果	評価
共存共栄	騒音・臭気等のクレーム：0件	0件	○
電力削減	RF製造1t当たりの電力消費量の削減：28.0kWh/t	28.2kWh/t	×
水質・土壌汚染防止	雨水処理設備からの放流基準オーバー：0件 (Ph5.8以上~8.6以下、透視度500mm以上)	0件	○
	漏洩事故：0件	1件	×
再資源化による天然資源の枯渇抑制	RF出荷量：55,000t	53,716t	×

項目	目的・目標	結果	評価
安全	事故・災害：0件	1件	×
衛生	健康個人目標の達成：85%以上	89.6%	○
防災	異常反応時の防災訓練：1回/年	1回/年	○
交通	交通事故：0件	3件	×

※詳細は、当社ホームページのCSRレポートにて公開しています。

## 会社概要

名称：リマテック九州株式会社  
Rematec Kyushu Corporation

創立：2014年4月

所在地：<本社> 大分県臼杵市野津町大字都原字上坪906番地  
TEL 0974-32-7721(代表) FAX 0974-32-7731  
<津久見事業所> 大分県津久見市合ノ元町2-1 (太平洋セメント(株)大分工場内)  
TEL 0972-82-9055(代表) FAX 0972-82-7025

資本金：5,000万円

従業員数：66名 (2022年10月時点・アルバイト含む)

株主：リマテックホールディングス(株) 100%

事業内容：産業廃棄物処理、再資源化事業、設備メンテナンス及び清掃、環境再生事業等

URL: <https://rematec-kyushu.com/> メール問い合わせ: [mail@rematec-kyushu.com](mailto:mail@rematec-kyushu.com)



# REMATEC KYUSHU

## リマテック九州 2022

2021年10月~2022年9月

### 企業理念

技術をコア(*Technology*)に、  
地球資源である物質(*Material*)を  
無駄なく効率よく循環(*Recycling*)させることによって、  
持続可能な社会の構築に貢献できる企業を目指す。

### コンセプト

◇ 感謝 ◇ 誠実 ◇ 進化

### スローガン

考動し進化を続ける  
持続可能な会社を構築しよう!

# ご挨拶

弊社は、2014年4月にリマテックホールディングス(株)のグループ会社として、旧リマテック(株)から分社化し「リマテック九州(株)」として誕生いたしました。1988年に大分県臼杵市野津町に中間処理プラントを建設し事業を開始致しました。事業概要は、産業廃棄物処分業である「資源リサイクル事業」を基軸に、収集運搬事業・メンテナンス事業・環境修復事業を行っています。



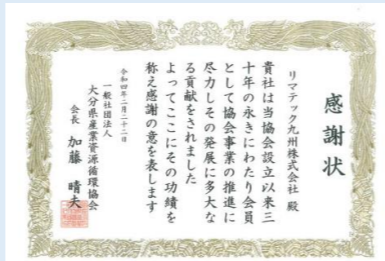
リマテック九州株式会社  
代表取締役 矢野真一郎

事業対象エリアは、九州全域と四国及び中国地方の一部を含む広域であり、廃棄物に関わるあらゆるご相談に適切にお応えできるよう、社員一同、日々スキルアップに努めています。廃棄物処理でお困りでしたら是非ご相談ください。ご期待に副った解決策をご提案できると思います。事業推進にあたっては、国際認証であるISO14001(環境マネジメントシステム)及び、ISO45001(労働安全衛生マネジメントシステム)規格の要求事項に応える事で、社是である「すべてのステークホルダーの皆様信頼され、地域との共存共栄を図りながら、地域に信頼され社会貢献できる会社を目指す」を実現できると確信しています。そして、これらの事業展開は、SDGsおよび地球温暖化対策へ通じる大事な役割を担っていると考えます。結びに、社会を取り巻く情勢は、3年目に突入した新型コロナウイルスの大流行や、長引くロシアのウクライナ侵攻等の影響を受け、エネルギー分野の需給不均衡化や、慢性的な労働力不足等を発端として、社会全体が混沌とした状況ですが、お取引先の皆様には弊社事業へのご理解とご協力を頂いていることに際しまして、衷心より御礼を申し上げます。今後も引続き変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 2022年トピックス(2021年10月～2022年9月)

### ・県産業資源循環協会

大分県産業資源循環協会様より弊社の功績を称え感謝状をいただきました。これもひとえに関係先の皆様のご支援ご指導によるものと感謝申し上げます。今後も会員企業として、協会事業の推進及び発展に努めて参ります。



### ・健康経営事業所認定

社としての従業員の健康づくり活動への取組みが評価され、令和4年度も大分県より健康経営事業所に認定されました。また、大分県中部保健所と臼杵市が主催する「令和3年度臼杵市事業ぐるみで健康チャレンジ」の取り組みにおいて、「敢闘賞」を頂きました。今後も事業所全体の健康づくりに努めて参ります。



実業団卓球部

### ・卓球部 実業団チームとして始動

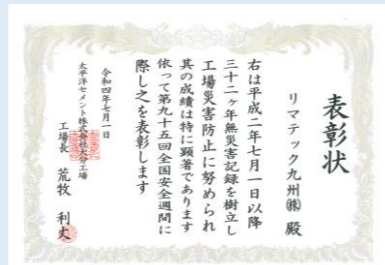
4月より新たに1人の新人が加わり、部員が4人となったことで、実業団チームとして活動を開始しました。2022年4月29日(金)に「全日本実業団卓球選手権大会県予選」に出場し、3勝1敗の準優勝という成績を残し、全国大会への切符を掴み取ることが出来ました。

### ・収集運搬車両更新

6月に医療系新車両が納車され、神酒をあげて交通安全を祈願しました。県内各地のお客様のもとへ、安全運転第一で走り続けます。

### ・協力会社無災害表彰

太平洋セメント株式会社大分工場 … 32ヶ年無災害記録 表彰状  
新日本熱学株式会社 … 年間無災害 感謝状(2000年より連続表彰)



### ・中堅社員研修

8月18日、中堅社員9名を対象に「フォローアップによる組織力の向上」について外部講師による研修を開催しました。オリエンテーションでは、各部署の垣根を超え活発な意見交換が行われました。今後も定期的に社員教育を開催して行きます。



中堅社員研修風景

### ・バレーボール寄贈

8月25日に地域のジュニアバレーボールクラブにボールを寄贈しました。このバレーボールクラブは設立25年の歴史のあるクラブチームで、現在弊社社員がチーム監督を務めています。

### ・製品出荷先追加

当社及び排出事業者様のリスクを低減するため、9月末より、当社で製造(中間処理)したリサイクル燃料(RF)の出荷先を新たに1社契約いたしました。今後も品質向上を心掛け、より良い製品を安定して出荷できるように努めてまいります。



社長からボール寄贈

# 安全活動

～92日間無事故・無災害運動～ 完全無事故無災害達成!

### ・VR体験

今年度の新たな取組みとして、全社員対象でVR体験教育を実施しました。フォークリフト走行時の危険体験や高所作業での危険行為等、体験を通して危険に対するリスクについて学びました。体験できない事故に対し、VRシミュレーションで貴重な体験ができました。



VR体験中

### ・部署間安全パトロール(一般職中心)

8月度、9月度は、一般層社員を中心とした部署間パトロールを実施しました。普段はあまり気に止めない、自部署以外の作業現場や設備等をパトロールすることで、新しい視点での気づきや指摘が100件以上も摘出できました。中でも、安全の基本である4Sに関する気づきが半数近くを占め、職場の4S活動強化に繋げる事もできました。厳しい指摘はありませんでしたが、習慣化が今一步である「指差呼称が出来ていない」点については、今回の活動を機に実践率アップに向けて各部署で対策を実施中です。

# CSR活動

CSRチーム員が中心となり、会社入口周辺の国道清掃や国道沿いの花壇の管理、臼杵市からお預かりしている森(共生の森)の管理を展開し、社一丸となった社会奉仕活動に努めています。この企業参画の森づくり活動は、平成20年10月18日の植樹から今年で14年目を迎えることとなりました。



国道清掃



国道沿い花壇の整備



臼杵市共生の森管理

当社では社員全員が参加できる取り組みとして、アルミ缶・ペットボトルキャップ、ペットボトルキャップ・古切手を収集し、地域のこども園や社会福祉協議会等に寄付を行っております。2008年の活動開始から2022年3月末までに、車椅子1台(アルミ缶)、ワクチン159本分(キャップ)等が集まりました。



ペットボトルキャップの収集



ベルマークの収集

	古切手	
今年度合計	0.404	kg
	アルミ缶(800kg=車椅子1台)	
今年度合計	73.14	kg
	ベルマーク	
今年度合計	1545.2	点
	ペットボトルキャップ(4kgでワクチン1本分)	
今年度合計	27.34	kg
ワクチン	6	本分

# 新規事業開発

産業廃棄物から高純度水素を製造・・・カーボンニュートラルへの挑戦

当社は、過去に廃棄物として受け入れた、金属粉末と廃油の混合物から発生した水素ガスが原因で、爆発火災事故を起こした苦い経験があります。その時の教訓を基に、徹底した安全・品質管理のもと、産廃の中間処理工程で発生する可燃性ガスをクリーンエネルギーに再生し、環境改善に貢献できないか、また、カーボンニュートラルに繋がる活動にできないかと考え、4年前から金属を含む産業廃棄物と、廃アルカリ溶液を混合した時に発生する副生水素ガスを回収し、高純度の水素ガスを精製する装置の研究開発に取り組んでいます。2022年度の事業としては、小規模反応炉2基で副生水素ガスを発生させ、500L/日の高純度水素ガス(99.999%)を製造する試作2号機を実用化に向けた各種検証試験を行っています。また、各種課題を乗り越えるため新たな地場企業との連携も図りながら、2030年を目途にグリーン水素の実用製造プラントを完成させ、2050年には弊社の設備で使用する電力の大部分を、再生可能エネルギーで賄える体制の確立を目指しています。



開発中の実験プラント